

# 令和6年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 令和7年3月 17日  
 学校関係者評価委員会評価実施日 令和7年3月 25日

## 1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

## 2. 認定こども園リーチェル幼稚園の目指す子供の姿

キラキラ笑顔で 明るく素直な子  
 夢を抱き 何事にも挑戦する子  
 みんなを応援でき 思いやりのある子

## 3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	A	昨年に引き続きカリキュラム・マネジメントについての研修をすすめ、保育計画の見直しをおこない、質の高い保育を実践していくために学びを深めた。行事や保育内容についても、子どもの様子に合わせ工夫改善を繰り返し、より子どもの興味関心に寄り添う保育になるよう実践していった。	A	日々の保育にも改善が見られ、教職員も研修を積み重ねており、よりていねいな保育を実践して行ってほしい。
2	保育の在り方園児への対応	B	保育の在り方について、子ども主体の保育を再度議論したり、行事の考え方などについても話し合ったり、より良い保育をみんなで話し合ってきた。また、不適切保育についてのセルフチェックも定期的に実施し、意識向上に努めた。きめ細かいサポートができるよう配置基準以上に職員を配置し、体制づくりに努めた。	A	これからも子どもが安心安全な環境で教育保育ができるよう、また、不適切保育が発生しないよう、園児一人ひとりを尊重し、個々に合わせたきめ細かな保育を実践してほしい。
3	教師としての資質・能力良識・適性	A	先述にもあるが、カリキュラム・マネジメントについての研修を継続し、保育の質向上に努めた。全職員対象におこなっているダイアログの研修では、職員の同僚性の向上や人間力向上に努めている。キャリアアップ研修についても計画的に受講し、職員の質の向上に努めている	A	年間 70 以上の協会や外部の研修に参加し、積極的に教職員の資質向上に努めている。職員全体研修やカリマネ研修を実施するなど、教育保育の質向上に努めているといえる。
4	保護者への対応	B	保育ドキュメンテーションをコンスタントにあげ Web で保護者が確認でき、また毎月の写真掲示においても保護者に日々の様子を写真の画像を通して伝えることができた。また参観会や父母の会の活動での行事のお手伝いをおして、子供たちの実際の様子を見る機会も確保することができた。	B	毎年あげられる課題である「園とのコミュニケーションの機会」については、まだまだ期待があるようなので、これからも園とのつながりが創出できることをより工夫していけるとよい。
5	研修と研究	B	昨年に引き続き、カリキュラム・マネジメントについて岡山大学教授から指導を受けており、そこでの学びや方策を研究対象とした。普段からの取り組みを工夫改善し、より質の高い保育の実践を目指した。次年度も引き続きおこなっていく。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい

\*結果の表示方法

十分達成されている  
 達成されている  
 取り組まれているが、成果が十分でない  
 取り組みが不十分である

A  
 B  
 C  
 D

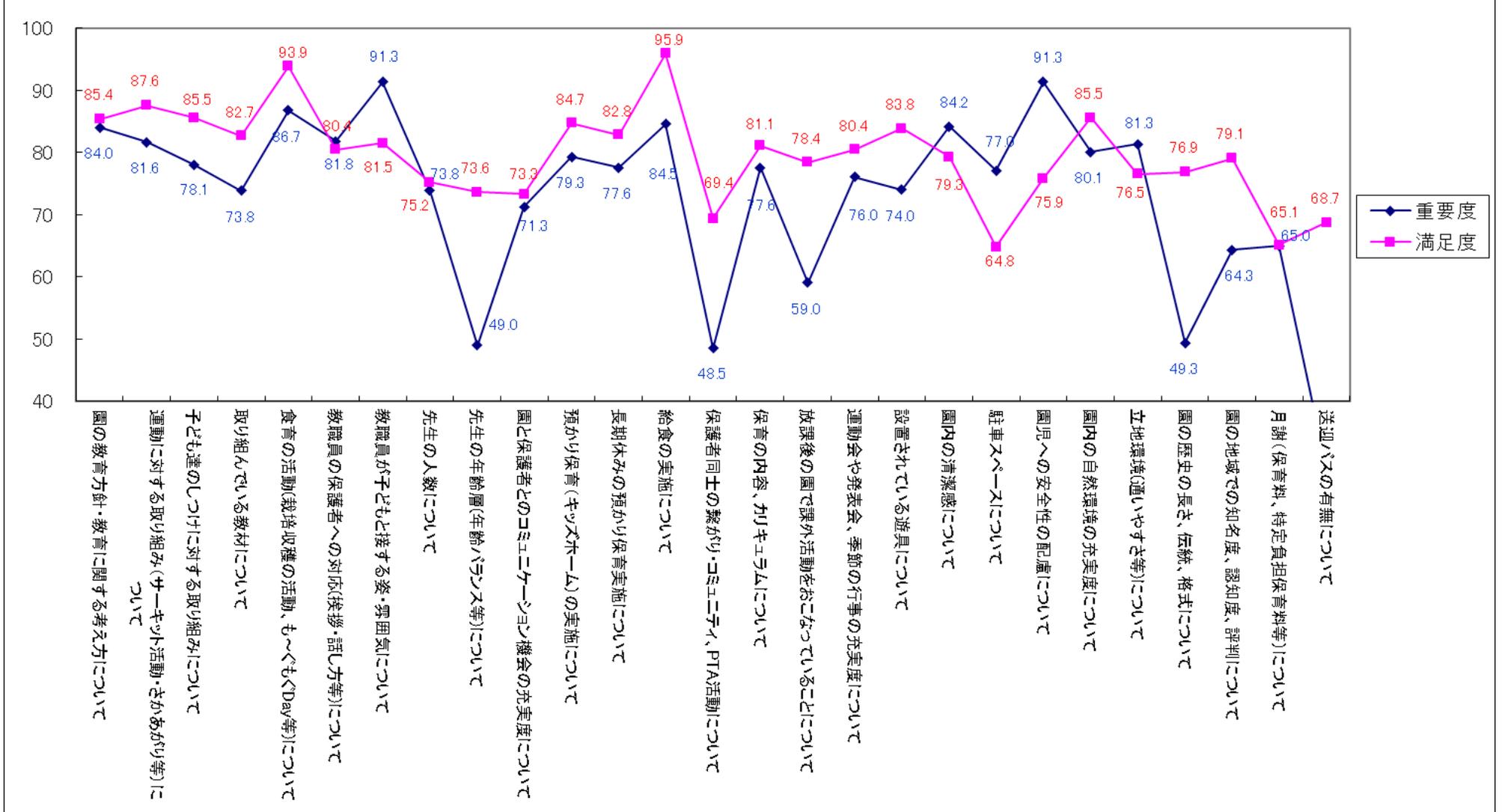
4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価		学校評価	
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	76.4	75.4	85.4	87.0
		運動に対する取り組み	74.3		87.6	
		子ども達のしつけに対する取り組み	74.3		85.6	
		取り組んでいる教材について	71.0		82.7	
		食育の活動（栽培収穫の活動、も〜ぐもぐDay等）について	81.1		93.9	
2	教職員の取り組み	教職員の保護者への対応(挨拶・話し方等)について	73.7	69.0	80.4	76.8
		教職員が子どもと接する姿・雰囲気について	71.0		81.5	
		先生の人数について	64.9		75.2	
		教職員の年齢層(年齢のバランス等)について	68.9		73.6	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実度について	66.9		73.3	
3	教育・保育に関するサービス	預かり保育の実施について	73.7	71.5	84.7	81.8
		長期休みの預かり保育実施について	73.7		82.8	
		給食の実施について	82.4		95.9	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ・PTA活動について	64.2		69.4	
		保育の内容、カリキュラムについて	71.0		81.1	
		放課後の園で課外活動をおこなっていることについて	67.6		78.4	
		運動会や発表会、季節の行事の充実度について	68.2		80.4	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具について	72.3	72.2	83.8	77.6
		園内の清潔感について	65.4		79.3	
		駐車スペースについて	73.7		64.8	
		園児への安全性の配慮について	71.0		75.9	
		園内の自然環境の充実について	81.8		85.5	
		立地環境(通いやすさ等)について	68.9		76.5	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式について	73.7	68.8	76.9	72.5
		地域での知名度、認知度、評判について	73.0		79.1	
		月謝（保育料、特定負担保育料等）について	64.2		65.1	
		送迎バスの有無について	64.2		68.7	

## 5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

# 保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>例年、園の理念・教育方針に対する保護者の理解も高く、教育保育内容など園の取組みに高い評価をいただけているので、引き続き努力して行って欲しい。また、高い評価がいただけていない部分に関してはより努力が必要である。特に教職員の取組みにおいて、園と保護者とのコミュニケーションの機会の充実を期待しているようなので、園と保護者の繋がりを意識し園運営をしていくとより良い信頼関係が結ばれると思う。</p>	<p>総評</p>
<p>子どもの興味・関心に寄り添い、子どもが子どもらしく生きていける保育をより充実してもらい、園として、子どもも大人もより満足いただけるよう、時代に合わせた保育に、積極的に挑戦して行ってほしい。 学校関係者評価委員会としての評価は A とする。</p>	

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子どもや保護者への対応の充実</p>	<p>教職員の資質向上については、職員全体研修を引続きおこない、園内研修や外部研修を活用し、教職員一人ひとりの資質向上をはかり、園全体の教育保育の資質向上により一層努めていく。 引き続きカリキュラム・マネジメントについて学び、子どもの想いに寄添った保育をすすめていく。また教職員の資質向上のため、業務改善をすすめ、学びの機会や保育を語り合える場の確保を目指していく。 園や職員と保護者との機会創出についても、父母の会とも協力し、より充実したものとなるよう工夫改善をしていく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>事故防止委員会を中心に、事故防止や対策について検討し再発防止につなげるとともに、園内環境について再度見直しを図る。また園内研修により、午睡チェック、不審者対応、自然災害、園内感染、アレルギー対応などのマニュアルを再確認し、非常事態に落ち着いて対応できるよう定期的に研修を重ねる。また、専門家による職員研修を実施し、職員の意識向上をはかる。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園内の整理・整頓・清潔を常に意識し行動する。衛生面においても園内を清潔に保つことがとても重要である。 園内だけでなく、園庭環境においても自然を活かし、共生できる工夫をしながら、安全対策や事故防止対策も講じ、子供達が安心安全に、そして意欲的に遊び込める園庭環境の整備に努めていく。</p>